

堀川再生の課題と今後の方策

■ 第1回研究会の討議の整理

- 堀川の水質
- 名古屋港の水質との関係
- 堀川の市民とは
- 堀川に市民の目を
- 研究会の目指す方向


堀川の水質

- 昭和40年代以後急速に浄化進む
 - 公害対策基本法の成果
- しかし、
- 現在でも夏季にはDOが低く悪臭が発生
- 生物がほとんどいない
- 水質以前にゴミが問題

名古屋港の水質に依存

- 堀川のほとんどが感潮域
 - 名古屋港からの大量の流入
 - 名古屋港の水質に依存
- 名古屋港の水質は十分きれいであるか
 - 実はきれいではない
- 成層化の問題
 - 底層は貧酸素
 - 水質計測の精度と感覚の問題

汚いものは洗い流す？

- 堀川の汚濁を洗い流しても名古屋港にたまるだけ
 - 名古屋港も外海との水交換は悪い
 - 結局、汚濁は堀川をさかのぼる
- 
- どこかで汚濁を取る必要がある

堀川の市民とは？

- ✦ 堀川を汚したのは市民
- ✦ 市民の負担
 - 水をきれいにするにはお金がかかる
- ✦ 自分たちの手で再生していく義務？
- ✦ 堀川再生によって市民はどのような恩恵を受けるのか
- ✦ 堀川の市民とは誰なのかーその要望は？

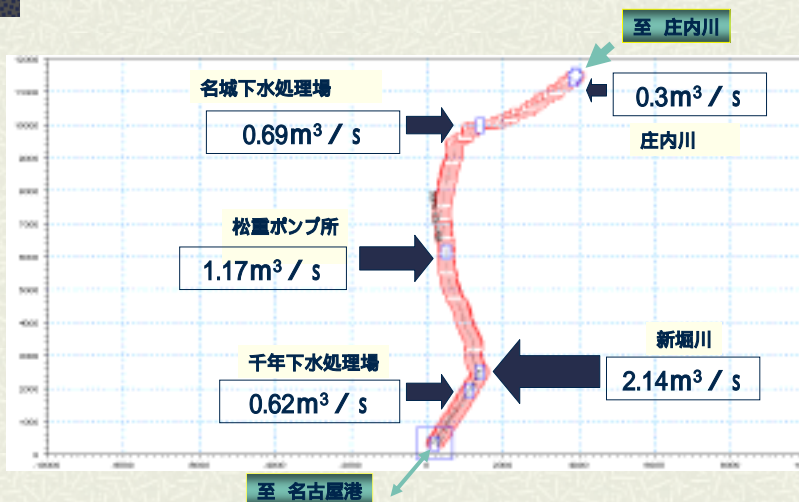
堀川に市民の目を向けよう

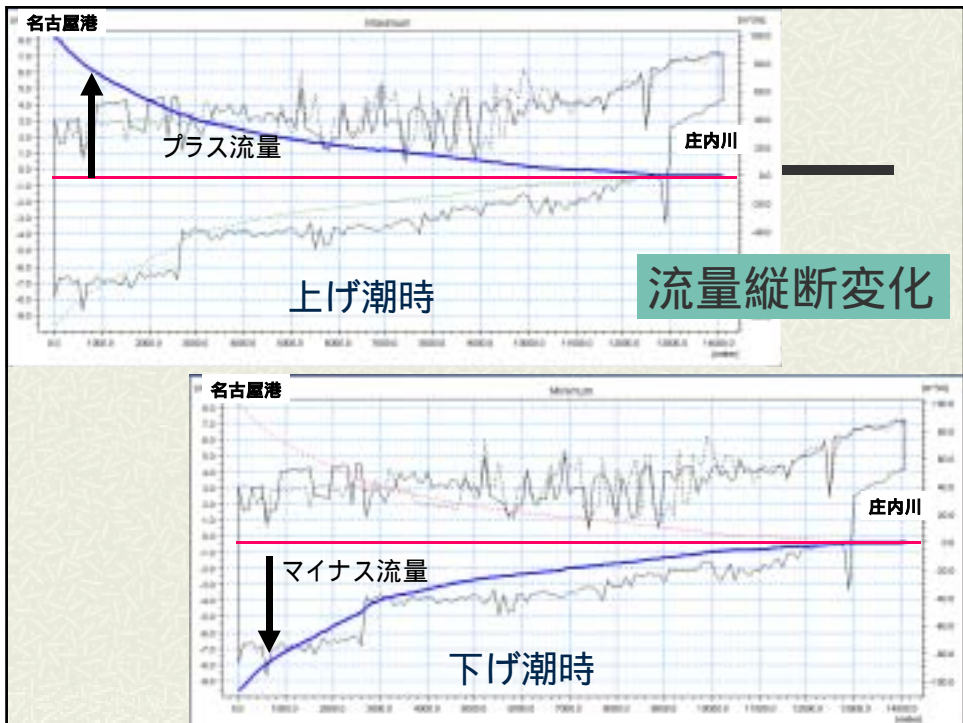
- ✦ 堀川に背を向けた町という事実
- ✦ 堀川に目を向けることが大事
- ✦ 船から堀川を見る
- ✦ 堀川の歴史 → 都市再生、新しい都心軸
- ✦ しかし、水質改善が優先事項
- ✦ 今でも市民の関心は十分高い

研究会の目指す方向

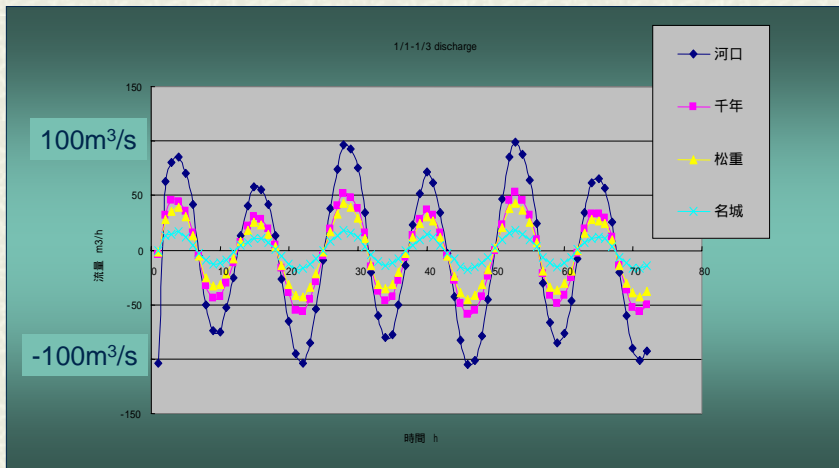
- 堀川の再生に対する科学的根拠
- 堀川に対する市民意識の把握と啓発
- 行動計画
 - 堀川の流況の把握
 - 堀川の水質の観測
 - 水質改善策の提示
 - 市民意識調査
- プロジェクトX → 技術の投入と市民の満足度

堀川の平水時流況シミュレーション





各地点の流量時間変化



堀川中流部の短期浄化策の提案

- 浄化にはやはり堰が一番効果的
 - 海水との縁を断ち、中心部を浄化
 - 堰はあくまで一時的なもの
 - 堰に対する抵抗
 - 自然の営みを壊す？
 - 舟運の確保？
 - 治水への影響？
 - ヘドロは固化できないか
- } 実現可能性の議論